

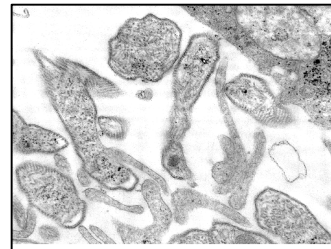
# 山口県感染症発生週報

(第32週:平成23年8月8日～8月14日)

## 1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆結核: 第30週追加:1例(周南)。第31週追加:3例(いずれも周南)。



ムンプス(流行性耳下腺炎)ウイルス  
CDC/ Courtesy of A. Harrison and F. A. Murphy

## 2 定点把握感染症(5類感染症)

### (1)特記事項

◆手足口病: 山口県では、第25週時点で手足口病の流行発生警報の発令をしています。第27週をピークに5週連続して減少していますが、報告数が多い状況です。地域別には、防府が今週警報レベルの終息基準値を下回りました。原因病原体としては主にコクサッキーウイルスA6型が検出されていますが、6月下旬以降の検体からはコクサッキーウイルスA16型も検出されています。全国的にも、今年は例年と比べてかなり多い状態です。【警報レベル=防府以外のすべての地域】※

◆伝染性紅斑: 過去4年間の同時期と比較すると、今年は4年ぶりに高い水準で推移しています。

◆流行性耳下腺炎: 警報レベルの地域はありませんが、過去4年間の同時期と比較すると多い状況が2010年から続いています。

◆マイコプラズマ肺炎: 報告数がやや多くみられる週が続いています。

◆無菌性髄膜炎: 下関から1例報告がありました。患者は5歳で、原因病原体は不明です。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。  
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuho.php>

### (2)週別発生状況

疾患名	30週	31週	32週	疾患名	30週	31週	32週
インフルエンザ	0	0	0	百日咳	4	0	1
RSウイルス感染症	13	7	19	ヘルパンギーナ	65	37	48
咽頭結膜熱	17	14	11	流行性耳下腺炎	55	58	43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55	45	52	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	119	120	108	流行性角結膜炎	4	2	6
水痘	58	44	55	クラミジア肺炎	0	1	0
手足口病	569	457	367	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	39	32	26	マイコプラズマ肺炎	8	6	8
突発性発しん	44	40	42	無菌性髄膜炎	1	0	1

### (3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	16	0	0	0	0	0	3	0	0	19
咽頭結膜熱	1	4	0	3	0	1	2	0	0	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	5	0	7	2	10	2	0	14	52
感染性胃腸炎	17	9	3	19	4	19	16	11	10	108
水痘	13	2	0	5	2	14	18	1	0	55
手足口病	100	30	18	68	5	41	55	46	4	367
伝染性紅斑	6	6	0	2	2	4	3	3	0	26
突発性発しん	15	2	2	4	2	6	5	4	2	42
百日咳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ヘルパンギーナ	5	2	1	13	0	3	18	6	0	48
流行性耳下腺炎	20	10	4	0	0	5	3	1	0	43
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	2	2	2	0	0	6
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	2	3	0	2	0	0	1	0	0	8
無菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

※平成23年8月23日に報告数の追加がありましたので、データの一部を修正しました。

山口県感染症情報センター(山口県環境保健センター内)

電話:083-922-7630 FAX:083-922-7632

<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/>